

2019年度入学生 家政科履修系統図

アドミッション・ポリシー			
各入試において、以下の基礎的学力、人間的側面について確認された人を受け入れています。			
①	②	③	④
物事に責任感・誠実さをもって立ち向かう情熱をもち、社会的活動や家庭生活において必要な知識・技術を身につけて、貢献したいと考えている人	健全な心身、豊かな感性と向上心を持って目標に向かって真摯に努力できる人	人との関わりを大切にしながら、相互理解や、集団としての目標達成のためにコミュニケーションをとる意志のある人	高等学校までの学習で培った基礎的学力を身につけている人

カリキュラム・ポリシー	
<p>建学の精神に則り、高い教養・情操と専門的な知識や実践的な技術をバランスよく身につけ、社会的活動及び家庭において貢献できる人材の育成を目的としてカリキュラムを編成しています。</p> <p>家政科共通の科目として、共通科目、家政科コア科目、支援科目（共通）を設置しています。共通科目は、変動しつつある社会に対応できる力と豊かな教養、社会人として必要とされる力を身につけるための科目です。家政科コア科目は、家庭を中心とした生活を総合的、科学的に学ぶ科目です。支援科目（共通）は、短期大学の課程を履修するのに必要な基礎知識を補完し、かつ、社会人基礎力の礎となる科目です。</p>	

		卒業時の学習成果(到達目標)	1年前学期	1年後学期	2年前学期	2年後学期
共通科目	独自	スピーチをするなどコミュニケーション能力を磨くとともに短大生としてのマナーと技術を身につける。	●教養基礎演習			
	総記	社会で必要とされる、情報を収集・整理するための情報通信技術（ICT）の基礎的能力や資格などを身につける。	●情報技術	ビジネスエクセル ビジネスワード ビジネスパワーポイント		(ビジネスワード) (ビジネスパワーポイント)
	哲学	人間心理に対する理解力を養い、それに基づく行動力を身につける	心理学			
	社会科学	基本的な社会の仕組みとその変化を学ぶとともに、社会における自発的営為の必要性について理解し、社会の一員として必要な行動をするための基礎的な考え方を学ぶ。	ボランティア論	異文化と世界	教養としての経済学 日本国憲法と法律	
	芸術・美術	自らの将来に向け、社会的・職業的自立のために必要な意識やコミュニケーション能力を含む基礎的能力を身につける。	●キャリア形成Ⅰ ビジネスマナー	キャリア形成Ⅱ	(ビジネスマナー)	
	言語	心身が健康であることの重要性を学び、運動を通じて健康な身体を育み、体調を保つことの重要性を学び、日常生活の中で適切な運動を実践できるようにする。		●運動と健康		
家政科コア科目	グローバル社会に生きる基礎としての語学力を身につける。	●英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ (英会話)		
支援科目(共通)	家庭を中心とした生活を総合的、科学的に認識し、生活の質の向上を目指して学ぶことにより、自らの人生を作り出し、社会に貢献する力を身につける。	●家政学概論 △食生活論 ○衣生活論 ○住生活論	●英会話	○保育学 ●家族関係学	妊娠と出産の科学 ○介護概論 ●家庭経営学 ●消費生活と環境	
		入学時よりも基礎学力が定着し、社会人基礎力の礎になっている。	英語基礎演習			

●卒業必修科目（両専攻）

○卒業必修科目（生活デザイン専攻）、選択科目（食物栄養専攻）

記号なし 選択科目（両専攻）

△卒業必修科目（生活デザイン専攻）、食物栄養専攻では設置せず

ディプロマ・ポリシー	
<p>所定の単位を修得することによって、以下の能力を身につけた学生に対して学位を授与します。</p>	
①	②
仕事や家庭生活に必要な専門的な知識・技術をもち、豊かな生活に向けて実践できる能力	高い教養、情操及び倫理観をもって社会的活動や家庭生活に主体的に参画するために必要となる思考力、他者に配慮する力、豊かなコミュニケーション能力及び問題解決能力

教育目的
職業又は実生活に必要な能力を具備する女性の育成